

国際交流サークル FIT-ICE が新宮町「家庭ごみの出し方」の英訳にチャレンジ！

本学と包括的連携協定を結んでいる新宮町は、地域社会のグローバル化に伴い、近年外国人の転入が急増しています。協定を締結した平成 26 年冬、新宮町から「外国籍の住民にもゴミ分別に関する情報を伝えたいので、広報用パンフレット“家庭ごみの出し方”（全 12 ページ）の英訳に協力してほしい」との相談を受け、本学の国際交流サークル FIT-ICE (FIT International Cultural Exchange)の English チームが初の英訳にチャレンジすることになりました。

情報システム工学科 2 年生の一ノ瀬海斗さん（現 FIT-ICE 部長）をリーダーとして English チームメンバー 11 名が分担して英訳作業を開始。作業中の平成 27 年 6 月には日本語版の改訂が入り、最終的に 4 ページ増の 16 ページの翻訳を行いました。メンバーが英訳した内容は、国際戦略室のジャーネルさん、クリスティーンさんによるネイティブチェックを受け、さらに社会環境学科の池田教授や国際戦略室の大谷係長に日本語版と照合しながらブラッシュアップしていただきました。

平成 28 年 1 月 28 日、新宮町の長崎町長来校時に English チームを代表して 5 名の学生が完成した英語版「Household Garbage Regulations」を町長に直接贈呈することとなり、長崎町長から「翻訳作業は大変だったでしょう」と労われた一ノ瀬さんは、「みんなで分担して作業するのは大変でしたが、頑張ってよかったです」とチームを代表して話していました。

(大学・地域連携推進室)

英語版の方には、FIT-ICE が翻訳したとの表記を入れていただきました。➔



▲新宮町長に完成版を手渡す FIT-ICE メンバー(写真左から)
 ・情報システム工学科 2 年 一ノ瀬海斗さん(長崎南高) ・システムマネジメント学
 科 3 年 西口太陽さん(錦江湾高) ・電気工学科 3 年岩永賢勇朗さん(鹿島高)
 ・電気工学科 3 年 池田薫さん(福岡工高) ・知能機械工学科 2 年 原口健太郎
 さん(城東高)。



新宮町環境課との初顔合わせの様子。
 (右側が FIT-ICE の皆さん)

掲示期間 H-27-259
 2月5日～22日

この件のお問い合わせは広報課へ